

	<h2 style="color: green;">ジュンサイを残そう市民の会</h2> <h3 style="color: green;">クモ調査会&観る会</h3> <p>作成日：2020/10/20</p>	
活動日時	2020年（令和2） 10月18日（日）クモ調査 10:00~12:00 観る会 ~15:00	
天候	晴れ 穏やかな秋日和	
活動場所	自然環境ゾーン内、会の管理地 及び自然環境ゾーン斜面林際斜面とL2池周辺	
参加者数	クモ調査：12名／「観る会」来場者：36名、午後対応：2名	
活動内容 (クモ調査)	<p>日本蜘蛛学会会員 加藤 輝代子氏（ジュンサイを残そう市民の会会員）を講師として、クモの調査を実施した。観察されたクモの記録は以下の通り 12種であった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キシノウエトタテグモ；住居 2. カグヤヒメグモ；♂ 3. ニホンヒメグモ；幼体 4. シロカネイソウロウグモ；幼体♂♀ 5. ヨツデゴミグモ；幼体 6. ゴミグモ；幼体 7. ハツリグモ；幼体 8. ナガコガネグモ；♀ 9. コガタコガネグモ；♀（田中さん） 10. ジョロウグモ；♂ ♀ 11. イオウイロハシリグモ；幼体（分散中） 12. デーニツハエトリ；♂ <p>・クモの捕食行動の観察がよくできた。（ナガコガネグモ♀とジョロウグモ♀の網にバッタ類をかけ、捕食方法の違いを観た。前者は「ラップ→バイト」方法、後者は「バイト→ラップ」方法 その他にも・キシノウエトタテグモの住居観察・ジョロウグモ♀の網観察（三重構造、網の補修等）とシロカネイソウロウグモの同居・ハツリグモの葉吊り網の観察 などを行った。</p>	
活動内容 (観る会)	<p>午前中はクモ調査と並行して行ったので、ジュンサイをはじめとする水草の他、クモ類の説明に関心が深い方もいた。午後は熱心な親子連れが多く、ザリガニも人気だった。水草の花はオオイトタヌキモのみ。オギの穂や野草のミゾソバなどの紹介をした。</p>	
記録者	写真：田中（直） 文：禿	
	<p>加藤輝代子講師より、クモ類の概要説明（左）その後、皆でクモを探しながら観察。ナガコガネグモとジョロウグモの捕食行動との違いをつぶさに観、参加者一同、クモの面白さに魅了され、時間を忘れるほどでした。（右）</p>	
		
<p>網にかかった獲物のオンバッタをまさにすぐに咬んでいるジョロウグモ（♀）！</p>	<p>イオウイロハシリグモの幼体が分散して広がっていくーまさに蜘蛛の子を散らす状態！</p>	